

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：義務教育指導課

担当名：学力調査担当、学びの改革担当

内線：6749

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B44	AIを活用した学びの実践研究事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費	
事業期間	令和元年度～ 令和4年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			宣言項目	06	次代を担う人財育成
					分野施策	030620	確かな学力と自立する力の育成	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>新学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実を図ることが求められている。埼玉県学力・学習状況調査の結果をはじめ、小・中・高等学校で得られる様々なデータとAI(人工知能)を活用して、よりきめ細かい個に応じた指導の実現を目指す。</p> <p>(1) AIを活用した学びの実践研究事業 △4,691千円 国委託事業の採択金額決定に伴う減額 契約差金による減額</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア AIを活用した学びの実践研究事業 59,728千円</p> <p>(イ) 県学力・学習状況調査と学校保有データのAIによる分析 既に蓄積されているビッグデータである埼玉県学力・学習状況調査の結果や、小・中・高等学校で得られる定期考査、生活習慣アンケートの結果等のデータを組み合わせて、AIによる分析を行う。</p> <p>(イ) 個に応じた指導の実践研究 AIによる分析結果を活用し、児童生徒一人一人の学力や学習状況などに応じた個別アドバイスシート、個別学習教材の作成を行う。 また、モデル校において、作成したアドバイスシートなどを活用して個に応じた指導の実践研究を行う。</p> <p>(2) 事業計画 令和元年度～ 県学調結果などのデータのAI分析 学校保有データの収集、データベース化 分析結果を活用した成果物作成のためのシステム構築、モデル校での実践研究</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア AIを活用した個に応じた指導の実現に向けて、必要となるデータや課題などの抽出。 イ 児童生徒個々の学習理解度に応じた適切な指導方法や教材などの提示。 ウ 個に応じた指導（生活指導・学習指導）の実現による児童生徒の学力向上などの支援。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 国委託事業の採択金額決定に伴う減額 イ 契約差金による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分								
(1) (国 定額) (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.6人=5,700千円								
			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額		国庫支出金						
決定額	△4,691	△3,005					△1,686	55,040
現計額	59,731	20,000					39,731	